



電気消費量1/7以下

省エネ型燃焼システム

システム環境

システム環境(東京都台東区、湯谷友信社長、03・3845・7851)は、グループ会社のシステムケイソー(同台東区)と共同で、省エネ型の負圧式ファンミック

スバーナーシステム(写真)を発売した。標準価格は180万円。乾燥炉やボイラメーカーなど向けに、1年間で200万の販売を目指す。

ファンを使いガスと空気を吸い込む負圧式で、ガスと空気を混合してバーナーに送る。燃焼効率が高いためモーターの大きさをファン回転数を抑えられ、電気消費量を

従来型製品の7分の1以下、ガスの使用量を8割以下にした。

不完全燃焼が起こりにくいため一酸化炭素がほとんど生じず、窒素酸化物(NOx)排出量を従来比約4分の1に削減した。ファンが回転している時のみガスを供給することで安全性を高めた。バーナーヘッド、ファン、制御装置、バルブを一体にし、設置サイズを抑えた。



ハネウエルの制御機器やベカルトのバーナーなど、欧米3社の燃焼システム機器を組み合わせて開発した。中国などでの販売も見込む。